

Ⅱ 生体防御医学研究所主催セミナー

生体防御医学研究所セミナー

本研究所主催のセミナーを昭和60年度より開催しており，平成10年度も引き続き遺伝学部門がセミナー係を担当した．平成10年4月より平成11年4月までに第226回から第252回までのセミナーが行われ，講演者および演題は次の通りであった．

第226回 平成10年4月24日（金）

中辻 裕司 先生（大阪大学・医学部・神経内科）

“コンタクトインヒビションによるグリア細胞の増殖抑制機構について”

第227回 平成10年4月21日（火）

菊池 章 先生（広島大学・医学部・生化学第一講座）

“Wnt シグナル伝達系における Axin の役割と beta-catenin の分解”

第228回 中止

第229回 平成10年5月26日（火）

岡部 繁男 先生（工業技術院・生命工学工業技術研究所）

“グルタミン酸受容体の機能制御メカニズム”

第230回 平成10年6月23日（火）

鐘ヶ江裕美 先生（東京大学・医科学研究所・遺伝子解析施設）

“四肢の発生における Rel/NF- κ B の役割”

第231回 平成10年7月21日（火）

大野 乾 先生（Beckman Research Institute of the City of Hope）

“脊椎動物と無脊椎動物のゲノム差に基づいた生体防御の違い”

第232回 平成10年7月29日（水）

杭田 慶介 先生（Vertex Pharmaceuticals 社）

“アポトーシスとカスパーゼ（Caspase）”

第233回 平成10年 9月22日 (火)

川上 敏明 博士 (La Jolla Institute of Allergy and Immunology)

“Bruton's tyrosine kinase (Btk) の機能と阻害”

第234回 平成10年 9月11日 (金)

Dr. Effie W. Petersdorf

(Division of Clinical Research Fred Hutchinson Cancer Research Center and
University of Washington School of Medicine)

“HLA matching and clinical outcome in unrelated donor bone marrow transplants”

第235回 平成10年10月13日 (火)

Dr. Yoke W. Kow (Radiation Oncology Emory University School of Medicine)

“Mechanism of action of formamidopyrimidine N-glycosylase”

第236回 平成10年10月13日 (火)

Dr. Ben Van Houten

(Sealy Center for Molecular Science, University of Texas Medical Branch at
Galveston)

“1. Reactive Oxygen, mitochondria DNA damage, and human disease”

“2. How does Tirapazamine kill hypoxic tumor cells : is the mitochondria a
critical target?”

第237回 平成10年10月 7日 (水)

垣塚 彰 先生 (大阪バイオサイエンス研究所)

“ポリグルタミン病発症の分子機構”

第238回 平成10年10月20日 (火)

北川 克己 先生

(Centre for Molecular Medicine and Therapeutics, University of British Columbia)

“Kinetochores structure and cell cycle progression”

第239回 平成10年12月1日（火）

高島 明彦 先生（理化学研究所・脳化学総合研究センター）

“アルツハイマー病における神経細胞死の機構”

第240回 平成11年1月26日（火）

吉田 裕樹 助手（生医研・免疫学部門）

“Apaf Iノックアウトマウスによるアポトーシス誘導機構の解析”

第241回 平成11年1月29日（金）

高橋 正行 博士（フランス国立科学研究センター・キュリー研究所）

“RecA蛋白質によるDNA鎖交換反応機構の解析”

第242回 平成11年2月23日（火）

Dr. Stephen J. Crocker（オタワ大学・薬理学教室）

“IAP Gene Therapy for Neurodegenerative Diseases”

第243回 平成11年2月26日（金）

Dr. Derrick E. Rancourt（カルガリー大学・医学部）

“The Utility of Bacteriophage lambda in Gene Targeting”

第244回 平成11年3月8日（月）

Prof. Philip C. Hanawalt（Stanford University, Department of Biological Science）

“DNA Repair and Human Genetic Disease”

第245回 平成11年3月16日（火）

善岡 克次 先生（金沢大学・がん研究所・細胞制御研究部門）

“MAPキナーゼシグナル伝達系におけるスキヤフォールド蛋白”

第246回 平成11年3月16日（火）

松永 司 先生（金沢大学・薬学部・分子細胞薬学講座）

“ヌクレオチド除去修復で働くXPGタンパクの機能解析”

第247回 平成11年 3月16日 (火)

白川 昌宏 先生 (奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科)

“DNA 修復蛋白質の機能と立体構造”

第248回 平成11年 3月18日 (木)

佐藤 健人 先生 (東海大学・免疫学)

“胸腺細胞の分化・増殖の制御機構”

第249回 平成11年 3月19日 (金)

荒井 勇二 先生 (国立循環器病センター研究所・バイオサイエンス部)

“温度感受性 SV40 T 抗原を用いた心筋細胞株の樹立”

第250回 平成11年 3月15日 (月)

高田 慎治 先生 (京都大学・大学院理学研究科・分子発生生物学研究センター)

“マウス初期発生における Wnt 遺伝子の役割”

第251回 平成11年 4月 5日 (月)

宮崎 徹 先生 (Basel Institute of Immunology)

“AIM, a novel apoptosis inhibitory factor : its cloning and functional characterization in vivo”

第252回 平成11年 3月30日 (火)

Prof. Jorge Kalil

(Allergy and Clinical Immunology School of Medicine, University of Sao Paulo)

“Streptococcus x Heart, Crossreactive T Cells in Human Cardiac Rheumatic Disease”